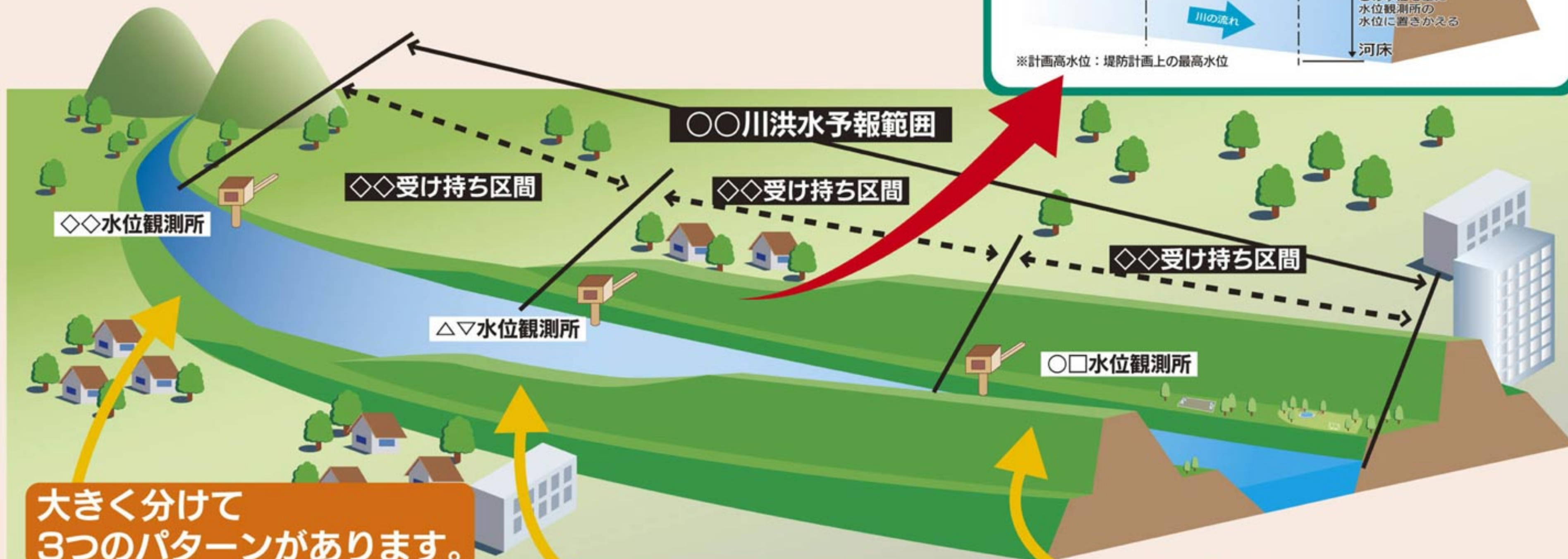


はん濫危険水位は、基準水位観測所の受け持ち区間毎に堤防の低い箇所で決められています。

洪水予報は、指定されている河川全体に発表されますが、水位観測所ごとにはん濫危険水位が設定されており、警報が発表されても全ての区間ではん濫の危険があるわけではありません。そのため、水位観測所の水位に注意し、河川情報をこまめにチェックしましょう。

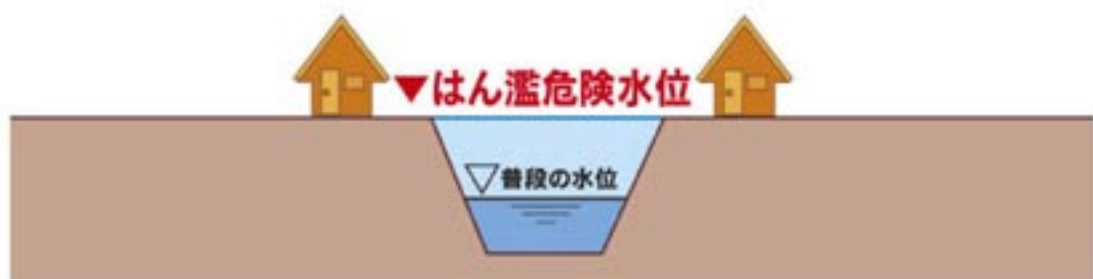
はん濫危険水位のイメージ図



大きく分けて3つのパターンがあります。

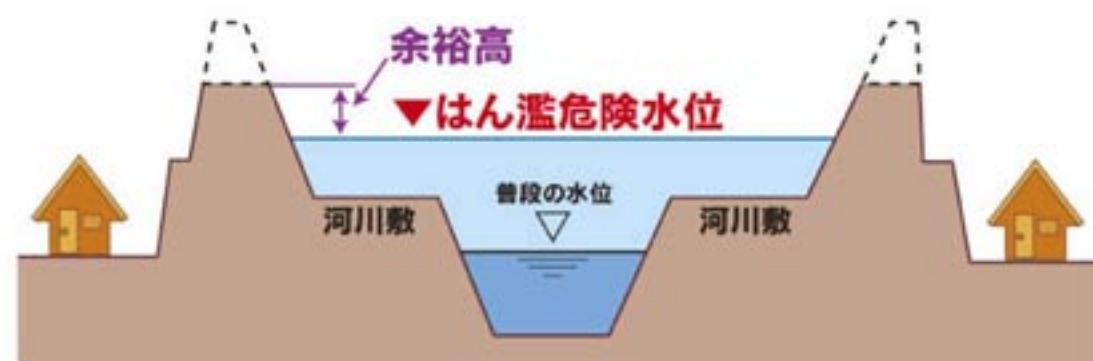
堤防がないと...

堤防がないところでは、家屋の地盤高付近の水位をもとに、水位観測所の水位に置き換えてはん濫危険水位とします。



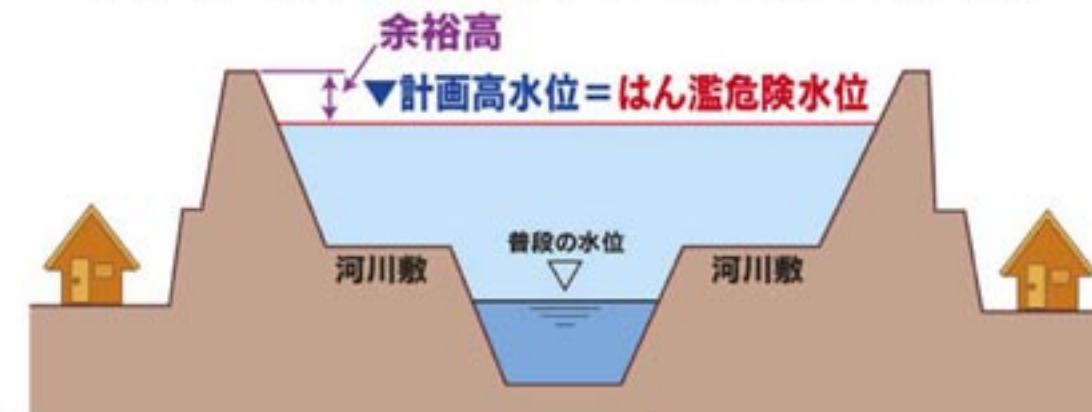
堤防はあるが低いと...

堤防が低い場合は堤防高より、余裕高を引いたところの水位をもとに、水位観測所の水位に置き換えてはん濫危険水位とします。



堤防が完成していると...

完成堤防の場合は、計画高水位=はん濫危険水位となります。



注)河川状況によっては、これらのパターンになじまない場合もあります。